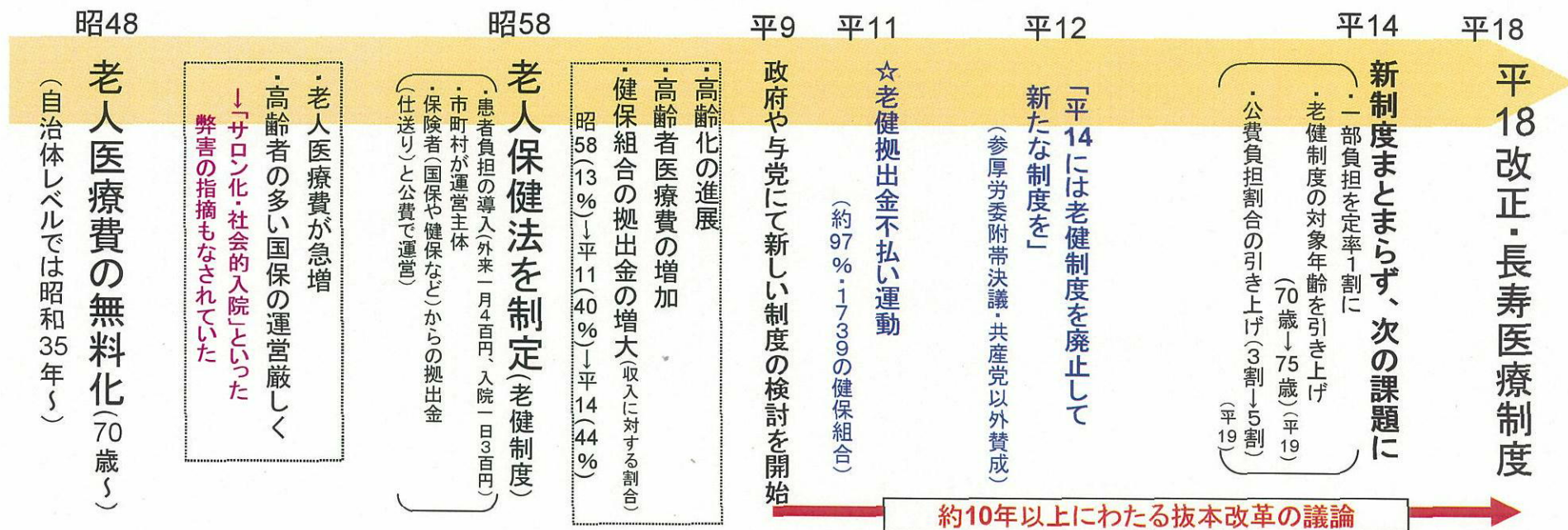


高齢者医療の歩み (老健制度からの見直しの必要性)

～現役の方々より軽い負担で医療を受けてもらえる仕組みの歴史～



老人保健制度の何が問題だったのか？

現役世代の「拠出金」が増え続けている状況で、

- ① 高齢世代の保険料の扱いが不明確。必要な費用が際限なく現役世代に回される仕組み。
- ② 実施主体である市町村は医療費を支払うだけで、保険料の徴収を行っておらず、責任が不明確。
- ③ 国保では、市区町村によって保険料に最大5倍の格差が存在。

(長寿医療制度では、保険料の格差は2倍に縮まる。)



老健制度にかわる新しい高齢者医療制度を創設することが必要というのが共通認識